

公共事業継続箇所評価調査

(様式5)

評価確定日(令和6年9月27日)

事業コード	R6-建-継-08	区分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	河川改修事業	部局課室名	建設部河川砂防課
事業種別	河川改修	班名	河川・ダム・海岸チーム(tel)018-860-2511
路線名等	二級河川 馬場目川 外2河川	担当課長名	河川砂防課長 高杉 英幹
箇所名	南秋田郡五城目町久保 外	担当者名	チームリーダー 外館 英樹
プランとの関連	戦 略	防災減災・交通基盤	
	目指す姿	強靱な県土の実現と防災力の強化	
	施策の方向性	頻発化・激甚化する水災害に備えた流域治水対策の推進	

1. 事業の概要

事業期間	R6～ R15(10年)	総事業費	70.0億円	国庫補助率	1/2	
事業規模	馬場目川計画延長L=5,700m 計画高水流量Q=400m ³ /s(1/50)、支川富津内川L=3,000m、Q=290m ³ /s(1/20)、支川内川川L=1,000m、Q=120m ³ /s(1/20)					
事業の立案に至る背景	馬場目川流域では、度重なる洪水被害に対して局部的な改良事業を実施してきた。しかし、令和4年8月及び令和5年7月と2年続けて広範囲に渡る洪水が発生し、浸水家屋数も過去最大級の被害となった。同規模の洪水から家屋浸水を解消するため、本支川一体となった河川整備に着手する。					
事業目的	馬場目川沿川の五城目町久保地区、富津内川沿川の下山内地区、内川川沿川の湯ノ又地区など、令和5年7月豪雨により被害を受けた地区において、同規模の洪水から家屋浸水被害を解消するため、河川改修事業を行う。					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		前回評価	今回評価	増減	理由等	
	事業費	4,500,000	7,000,000	2,500,000		
	経費内訳	工事費	3,387,000	5,437,000	2,050,000	一部計画変更に伴う河道掘削及び護岸、排水樋管の増
		用補費	473,000	473,000	0	
		その他	640,000	1,090,000	450,000	
	財源内訳	国庫補助	2,250,000	3,500,000	1,250,000	
		県債	2,025,000	3,150,000	1,125,000	
		その他				
事業内容	225,000	350,000	125,000			
事業内容	築堤、河道掘削、護岸工、橋梁、排水樋管等	築堤、河道掘削、護岸工、橋梁、排水樋管等				
事業の進捗状況	令和4年度 測量、現況流下能力調査、洪水量評価、河川概略検討 令和5年度 洪水量評価、河川概略検討 令和6年度 河川詳細設計、地形・路線測量、用地測量 (全体計画 C=70.0億円 令和6年度末投資額 C=3.0億円 進捗率 4.3%)					
事業推進上の課題	特に無し。					
関連する計画等	新秋田元気創造プランにおいて、着実かつ継続的に推進する基本政策「防災減災・交通基盤」の施策の方向性③「頻発化・激甚化する水災害に備えた流域治水対策の推進」に位置付けられている馬場目川水系 水災害対策プロジェクト					
情勢の変化及び長期継続の理由	馬場目川流域では、度重なる洪水被害に対して局部的な改良事業を実施してきた。しかし、令和4年8月及び令和5年7月と2年続けて広範囲に渡る洪水が発生し、浸水家屋数も過去最大級の被害となった。					
事業効果把握の手法及び効果	指標名	河川整備率				
	指標式	改修延長/要改修延長				
	指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	
	目標値 a	46.7%(R5末目標)		データ等の出典	河川砂防課調べ	
	実績値 b	46.8%(R5末実績)		把握の時期	令和6年3月	
達成率 b/a	100.2%					

前回評価結果等	● 選定または継続 ○ 改善 ○ 見直し ○ 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	令和5年7月に家屋浸水84戸、浸水面積389haの被害が発生しており、事業の必要性は高い。 令和6年8月に馬場目圏域河川整備計画変更に同意を得た。	30点
緊 急 性	改修目標流量に対する現況流下能力は36.0%と低いことに加え、平成30年、令和4年、令和5年と立て続けに被災している。また、重要水防区域にも位置付けられており、事業の緊急性は高い。	13点
有 効 性	令和5年7月豪雨と同規模の洪水に対して家屋浸水被害が解消される見込みであり、災害防止効果が大きく発現する。	12点
効 率 性	事業の費用便益比が1.22であり、事業の投資効果は高い。 また、河道掘削残土の築堤盛土材への流用、再生資材の活用等によりコスト削減に努める。	10点
熟 度	法面緑化の実施、排出ガス対策型車輛や機械の採用、現況河道を極力活用することにより、環境保全に配慮した計画としている。 また、令和6年4月に開催した馬場目川、富津内川および内川川の地元説明会では理解が得られており、令和5年10月には地元の五城目町から馬場目川も含んだ3河川の河川改修事業早期完成に関する要望書が提出されている。	17点
判 定	ランク (● I ○ II ○ III) 判定ランク I であり、事業実施箇所としての優先度が高く、事業を実施すべきである。	82点
総 合 評 価	● 継続 ○ 改善して継続 ○ 見直し ○ 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト削減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 河川改修事業

事業コード (R 6 - 建 - 継 - 8)
箇所名 (二級河川馬場目川 外 2 河川
南秋田郡五城目町)

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	想定氾濫区域内の状況				
	浸水戸数	50戸以上	10	10	馬場目川 36戸, 富津内川 26戸, 内川川 22戸 合 計 84戸
		10戸以上49戸以下	7		
		9戸以下	3		
	浸水面積	60ha以上	10	10	馬場目川 200ha, 富津内川 130ha, 内川川 59ha 合 計 389ha
		10ha以上60ha未満	7		
		10ha未満	3		
	重要な公共施設	3施設以上	5	5	国道285号 主要地方道 秋田八郎潟線 主要地方道 能代五城目線
		1施設以上	3		
		なし	0		
	整備計画の策定				
関係者、関係機関との調整	整備計画策定済み	5	5	馬場目川圏河川整備計画 (R6.8整備計画変更)	
	協議中であるが特段問題ない	3			
	策定に着手していないが予定がある	1			
	予定なし	0			
計			30	30	
緊急性	災害発生の危険度				
	改修目標流量に対する現況流下能力	40%未満	10	10	{馬場目川30% (120/400)*5.7km+ 富津内川40% (115/290)*3.0km+ 内川川58% (70/120)*1.0km} /9.7km = 36.0%
		40%以上60%未満	7		
		60%以上	5		
	秋田県水防計画				
重要水防地域	評定基準区分A	5	3	馬場目川、富津内川、内川川	
	評定基準区分B	3			
計			15	13	
有効性	河川整備の有効性				
	安全度	災害防止等効果が発現する	7	7	家屋浸水被害が解消される
		災害防止効果は現状と変わらない	0		
	親水性	安全に川と親しむ場として利用が見込まれる	5	5	緑化に配慮した護岸
		親水性は現状と変わらない	0		
	地域開発の状況	都市計画区域の存する地域	3	0	
地域開発の計画がある		1			
計			15	12	
効率性	事業の投資効果				
	費用便益比 (B/C)	1.0以上	5	5	7953.7/6541.0=1.22
		1.0未満	0		
	事業実施コストの縮減				
	該当項目数	3項目以上	5	5	河道掘削残土の築堤盛土材への流用, 再生砕石の活用, 家屋移転の少ない河道計画
		2項目	3		
		1項目	1		
		なし	0		
前回計画との比較					
前回計画事業費からの縮減	減少または10%未満の増加	5	0	155.5% 45.0億円→70.0億円 (25.0億円増額)	
	10%以上30%未満の増加	3			
	30%以上の増加	0			
計			15	10	
熟度	地元の状況				
	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている	5	5	馬場目川説明会R6.4 富津内川説明会R6.4 内川川説明会 R6.4
		意向が強く要件の同意を概ね得ている	3		
		意向が一部で強いがまだ要件の同意は得ていない	1		
	市町村の参画	積極的に参画し要望書等の提出がある	5	5	要望書提出 R5.10
		参画している	3		
		参画していない	0		
	事業の進捗状況				
	進捗率 (事業費)	8割以上完了	10	2	3.0億円/70.0億円
		5割以上完了	8		
		1割以上完了	5		
1割未満		2			
環境との調和への配慮状況					
環境保全への配慮 (秋田県公共事業環境配慮システムでの環境配慮事項)	3事項以上	5	5	法面緑化の実施 排出ガス対策型車輛や機械の採用 現況河道を極力活用した計画	
	1事項以上	3			
	環境配慮事項がない	0			
計			25	17	
合計			100	82	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	I	
II	優先度が高い	60点以上80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		